

自己点検・自己評価の公表について

学校法人 名古屋大原学園

1. 当学園における自己点検・自己評価の取り組みについて

専修学校における自己点検・自己評価は、平成19年に学校教育法及び同施行規則の改正により義務付けられることとなりましたが、本学園におきましては従前より独自の 방법으로評価点検とその改善に努めてまいりました。

令和元年度においても、より同法に則った項目で点検・評価を実施しましたので、ここにその結果を公表いたします。本学園における教育の現状を正しくご理解いただき、より一層のご支援を頂ければ、幸甚に存じます。

なお、自己点検・自己評価の詳細につきましては、本学園各地区各学校HP上で学校関係者評価報告書とともに自己点検・自己評価の総括表を公表するとともに、各学校内で詳細報告書を公開しています。閲覧ご希望の方は、日時をご予約のうえご来校ください。

2. 令和元年度自己点検・自己評価の結果について

本学園の教育理念を念頭に置き、分野ごとに行う専門教育を通じ、教育基本法に謳う“人格の完成”を目指し、“社会の形成者”として必要な資質を備えた身心ともに健全な学生を育成するため、すべての業務に誠意と情熱をもって対応します。

(1) 教育理念・目標

本学園では、学園の基本運営方針・教育目標・学園スローガンを定め、事業計画書等で明確に公表するとともに、職員総会をはじめ定期的に確認・点検できる場を設けています。

専門課程の目標：早期大人化教育、資格試験・公務員試験など専門教育の充実

(2) 教育活動

本学園では、変化の激しい社会ニーズに応えるため、毎年個別委員会を設置し、各事業年度の重点項目を定め、時代に即応した実践的な教育を展開できること、将来へ向けての準備を怠らないことに重点を置き、各テーマに取り組んでいます。

各校各学科とも、それぞれの分野からの人材ニーズを適切に把握し、目標人材像を定め、それに応じたカリキュラム等教育計画全体を定期的に見直しています。

教育現場においては、資格教育に留まらず、「自己管理能力」「協調行動力」など職業現場で必要とされる能力の開発など、産学連携の職業教育にも注力しています。

(3) 学生支援と教育成果

本学園は、全国展開する大原グループの一員として、授業カリキュラムから就職指導に至るまで、総合グループ校の特徴を生かすことにより、良質の教材の提供・高度な職員のスキル・全国を網羅する求人網等、学生の満足度の高い学校を実現しています。

各校ともクラス担任制で運用することにより、学生本人だけでなく父兄・出身校とも連携をしっかりと行い、よりきめ細やかな学生管理を行うことによって、国家試験の合格率や就職率など高い教育実績とともに低退学率を実現しています。

学園主導で「大原カーボンオフセットプログラム」に取り組み、各校とも学生が主導となって地域活動やボランティア活動に参加できる環境を整えています。

(4) 法令等の遵守

本学園は、会計・法律の資格指導校である特色を生かし、新制度や規定の制定に積極的に取り組んでいます。

個人情報に関しては、個人情報保護管理者を置き、法令の遵守に努めるだけでなく、詳細な学内規定『個人情報取扱規則』を策定し、全ての個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。

本学園は、自己点検・自己評価の実施と公表を、今後も積極的に行っていきます。

学校法人名古屋大原学園

【名古屋】

大原簿記情報医療専門学校
大原法律公務員専門学校
大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

【岐阜】

大原簿記医療観光専門学校 岐阜校
大原法律公務員専門学校 岐阜校

【津】

大原簿記医療観光専門学校 津校
大原法律公務員専門学校 津校

【浜松】

大原簿記情報医療専門学校 浜松校
大原法律公務員専門学校 浜松校
大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 浜松校

【静岡】

大原簿記情報医療専門学校 静岡校
大原法律公務員専門学校 静岡校
大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 静岡校

【沼津】

大原公務員医療観光専門学校 沼津校
大原介護福祉専門学校 沼津校

作成者: 鶴見達洋

作成日: 令和2年4月30日

サンプル数(評価数値の分布合計): 6

(1). 教育理念・目標

評価項目	評価数値の分布			
	適切…4	ほぼ適切…3	やや不適切…2	不適切…1
①学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	6	0	0	0
②学校における職業教育の特色は明確になっているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	4	2	0	0
③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	4	2	0	0
④学校の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	4	2	0	0
⑤各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	5	1	0	0

①課題

教育理念・目標についての評価は、「適切」、「ほぼ適切」という回答が全体を占める。

②今後の改善方策

④学校の理念・特色・育成すべき人物像の学生への周知は、授業等で行っており問題ない。また、保護者への周知は、定期的に就学情報を郵送しているが、周知しきれない面が多少ある。それを補うために、保護者説明会を令和2年度は実施する予定である。学校と保護者が連携して、学生の成長を支えていく。

③特記事項

当校は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、行政機関において必要とされる専門能力を身につけた人材の育成を目的とし、平成24年4月に開校した。以来、資格試験や公務員試験の合格に必要な専門教育を通して、社会人としての自覚をもち、精神的にも経済的にも自立した人材の養成を目指している。

(2). 学校運営

評価項目	評価数値の分布 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
①目的等に沿った運営方針が策定されているか	5	1	0	0
②運営方針に沿った事業計画が策定されているか	6	0	0	0
③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	6	0	0	0
④人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	2	0	0
⑤教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	6	0	0	0
⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	2	0	0
⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	5	1	0	0
⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2	3	1	0

①課題

学校運営についての自己点検・自己評価結果では、概ね「適切」、「ほぼ適切」という評価結果である。ただ、⑧「情報システム化による業務の効率化が図られているか」について「やや不適切」との評価があった。

②今後の改善方策

教務活動や就職に関する情報システム化が進んでいるが、紙媒体の作成とシステム入力と重複が多く、時代の変化へ柔軟に対応していく必要がある。また、学生に対する連絡・映像授業の視聴・定期試験などでOffice365の利用を始めており、職員相互で情報の共有を図り全員が効率的に活用できるようにしていく。

③特記事項

学校活動等に関する情報公開は、学校の案内書、学校のホームページを通じて発信されている。また、学校の自己点検評価、学校関係者評価、財務情報等についても、学校のホームページで継続的に公開している。

(3). 教育活動

評価項目	評価数値の分布 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	5	1	0	0
②教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	5	1	0	0
③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	5	1	0	0
④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	2	0	0
⑤関連分野の企業・関連施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	2	0	0
⑥関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	3	0	0
⑦授業評価の実施・評価体制はあるか	3	3	0	0
⑧職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	5	1	0	0
⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	6	0	0	0
⑩資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	5	1	0	0
⑪人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	3	0	0
⑫関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3	3	0	0
⑬関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研究や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4	2	0	0
⑭職員の能力開発のための研修等が行われているか	5	1	0	0

①課題

教育活動については「適切」「ほぼ適切」という評価である。

②今後の改善方策

1年に2回実施する教育課程編成委員会で業界の意見を収集し、それを反映したカリキュラム編成と改良を重ねている。また、卒業するまでに「地域に奉仕する精神」を養ってもらうために、官公庁の採用担当者による官公庁説明会や先輩からの業務説明会の実施、役所と連携したボランティア活動を継続していく。

③特記事項

学園は、教職員の人間力を高めるため、時代に対応するため研修を実施している。また、資格取得をはじめとした自己啓発を奨励している。

(4). 学修成果

評価項目	評価数値の分布			
	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
①就職率の向上が図られているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	5	1	0	0
②資格取得率の向上が図られているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	3	3	0	0
③退学率の低減が図られているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	1	3	2	0
④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	1	5	0	0
⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	4	2	0	0

①課題

学習成果の評価については、概ね「適切」「ほぼ適切」という評価である。ただ、③「退学率の低減が図られているか」については、「やや不適切」との評価があった。

②今後の改善方策

③について、令和元年度の退学率は昨年度と比べ増加した。精神的なストレスを抱える学生のメンタルケアを図るとともに、保護者との連携も堅固にしていく。

③特記事項

学園独自のトライアングル教育を通して、職業意識の向上に寄与する自己管理力・協調行動力を養成する教育に取り組んでいる。その結果、公務員試験の合格率は高水準で推移しており、開校以来多くの人材を役所に送り出している。

学校関係者評価委員会から、「卒業生の社会的な活躍を把握し教育活動に活用してほしい」と要望を受け、令和2年度は、役所で活躍する卒業生に授業のなかで話してもらえる機会を例年以上に設けていく。

(5). 学生支援

評価項目	評価数値の分布 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	2	0	0
②学生相談に関する体制は整備されているか	2	4	0	0
③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	5	1	0	0
④学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2	4	0	0
⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	5	1	0	0
⑥学生の生活環境への支援は行われているか	4	2	0	0
⑦保護者と適切に連携しているか	4	2	0	0
⑧卒業生への支援体制はあるか	4	2	0	0
⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	2	0	0
⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3	3	0	0

①課題

自己点検・自己評価結果では、「適切」「ほぼ適切」という評価である。

②今後の改善方策

学習、人間関係、就職で精神的なストレスを感じる学生が、メンタルを崩すケースが見られた。校長、主任、クラス担任をはじめ複数の教員が相談を受ける体制を堅固にしていく。

③特記事項

進路選択に関して幅広い情報を提供すべく、税関、検察庁、県庁など幅広い分野の官公庁説明会を毎年開催している。学生は在学中にしっかりと職業観を形成できるようになっている。

令和2年度、入学生や在學生を対象にした給付型奨学金の支給や入学金・授業料の減免措置が行われる高等教育の就学支援制度の認定校になった。その制度により、対象となる学生の就学支援を実施する。

(6). 教育環境

評価項目	評価数値の分布			
	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	2	3	1	0
②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	1	2	3	0
③防災に対する体制は整備されているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	5	1	0	0

①課題

教育環境についての自己点検・自己評価結果は、①③について概ね「適切」「ほぼ適切」であるが、②「学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等についての十分な教育体制整備」について、「やや不適切」との評価が複数あった。

②今後の改善方法

②について、授業を行う教室が学生数の増加に伴って手狭にならないように、大きな教室を利用していく。また、運動設備は学外の施設を利用しているが、トレーニング設備の学内設置を検討していく。なお、課外研修も経費を意識しながら、学生満足度が高まる研修を実施していく。

③特記事項

校舎内全フロアWi-Fi完備でiPadを駆使できる教育環境を整備している。

学生の海外研修については、「大原オーバーシーズ・プログラム」制度で支援している。

(7). 学生の受入募集

評価項目	評価数値の分布 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
①学生募集活動は、適正に行われているか	6	0	0	0
②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	6	0	0	0
③学納金は妥当なものとなっているか	4	2	0	0

①課題

自己点検・自己評価結果では、「適切」「ほぼ適切」という評価である。

②今後の改善方策

学生募集については、入学前に学校を正しく理解していただくために、学園ホームページ・案内書に、学校の基本情報、学科ごとのカリキュラム、資格合格実績、就職実績、学内イベントなど正確な情報提供を今後も心がけていく。また、学校説明会や体験入学においては、参加者に対し、在学生から実際の学校生活について話をする機会を設け、学生目線からの学校情報の伝達を今後も大切にしていく。

③特記事項

学校関係者評価委員会の指摘があった、社会人経験者で仕事を辞めて公務員を目指す学生の受入れについて、学びやすい環境やシステムになるように工夫している。

(8). 財務

評価項目	評価数値の分布 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5	1	0	0
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5	1	0	0
③財務について会計監査が適切に行われているか	6	0	0	0
④財務情報公開の体制整備はできているか	6	0	0	0

①課題

自己点検・自己評価結果では、「適切」「ほぼ適切」となっている。

②今後の改善方策

現在の財務状況は安定しているといえるが、少子化等取り巻く教育環境の変化への正しい対応をしていく。

③特記事項

財務については、入学後に寄付金や学債をお願いすることは一切なく、学園は借入金のない健全な財務状態となっている。

理事会・評議員会において、予算・収支計画の立案及び承認が適切に行われ、財務に関する会計監査及び税務監査は、公認会計士事務所及び税理士事務所に依頼し適切に行われている。

財務情報については「財産目録等の閲覧について」の規程を整備し、利害関係人が財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監査報告書の閲覧が出来るように、情報公開の場を設けている。

(9). 法令等の遵守

評価項目	評価数値の分布			
	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	5	1	0	0
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	3	1	2	0
③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	6	0	0	0
④自己評価結果を公開しているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	6	0	0	0

①課題

自己点検・自己評価結果では、①③④について「適切」「ほぼ適切」となっているが、②「個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか」について「やや不適切」の評価が複数あった。

②今後の改善方策

②について、学園が定める「個人情報保護取扱規則」の周知により、学生の個人情報を安易に取扱うことはなくなったが、「個人情報にかかるデータは外部のネットワークで繋がっている場所に保存しない」など徹底を図っていく。

③特記事項

自己点検・自己評価の結果については、学園ホームページに公開し、学校関係者評価委員会に報告し、関係者からの評価を受け改善している。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価数値の分布			
	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	4	2	0	0
②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	4	2	0	0
③地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	4	2	0	0

①課題

自己点検・自己評価結果では、「適切」「ほぼ適切」が全体を占める。

②今後の改善方策

ボランティア活動については、開校以来、積極的に、学生に紹介している。このボランティア活動を通じて、「人のために尽くすことの楽しさ」を感じてもらい、次は、学生が、自分のやりたいボランティア活動を探せるように指導していく。

③特記事項

学校施設は、土曜日や日曜日において「各種資格試験会場」、「大学入学試験会場」等として貸し出しを行っている。また、名古屋大原学園では、人間としての生き方を東洋思想から学ぶ「人間学読書会」を年5回、無料で開催し、地域の各企業から多くのご参加をいただいている。当校でも、サテライトシステムを使用し参加することができる。